

平成 26 年度版

愛知の観光振興施策の実施状況

(平成 25 年度年次報告書)

本書は、愛知県観光振興基本条例第9条第6項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成25年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目 次

| | |
|--|----|
| 第1 愛知の観光の現状 | 1 |
| 1 観光旅行者の満足度 | 2 |
| 2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数 | 3 |
| (1) 県内宿泊者数 | 3 |
| (2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数 | 3 |
| 3 経済的・社会的効果 | 4 |
| (1) 経済的効果(観光消費額) | 4 |
| (2) 社会的効果(観光ボランティアガイド数) | 5 |
| 第2 平成25年度における主要な観光振興施策の実施状況 | 6 |
| 1 観光資源の発掘・商品化の支援 | 6 |
| 2 プロモーション活動の強化 | 6 |
| 3 観光客の受入体制の充実 | 9 |
| 4 広域観光の推進のための連携強化 | 10 |
| 5 MICE(イベント、コンベンション等)の戦略的な誘致 | 11 |
| 第3 平成26年度の主要な観光振興施策 | 12 |
| (参考)愛知県観光振興基本計画推進委員会 | 14 |

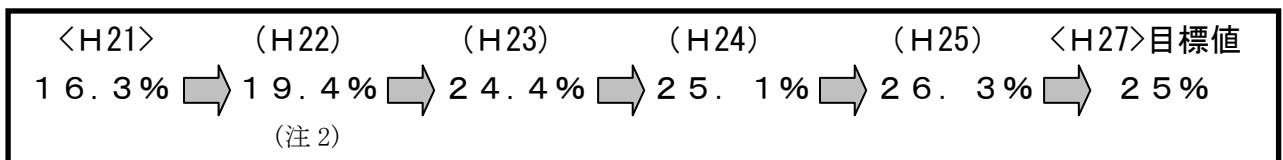
第1 愛知の観光の現状

愛知県観光振興基本計画において、計画期間中(平成22年度～27年度〔6年間〕)の目標として掲げた5つの指標の現況は、次表のとおりであった。

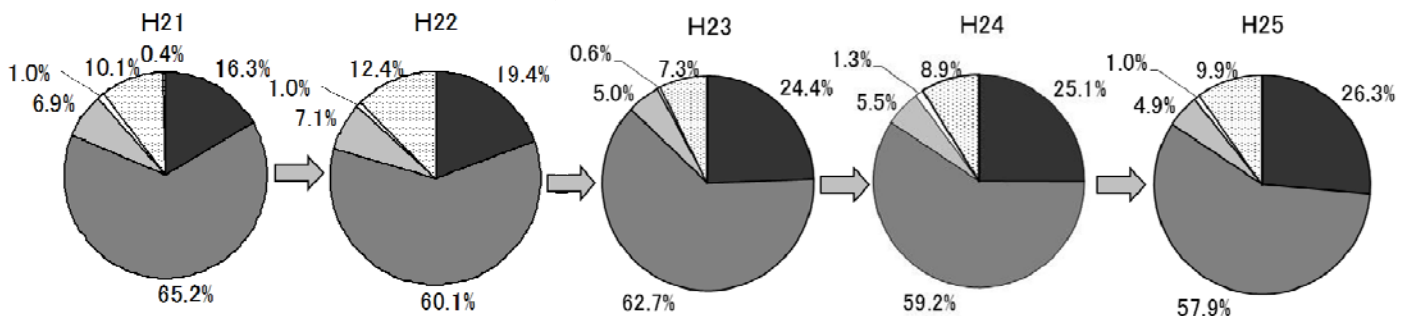
| | 指 標 | 目 標 値 (平成27年) | 計画当初 | 平成24年度 年次報告 | 現 況 |
|----------------|-----------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1 観光旅行者の満足度の向上 | 観光旅行者の満足度 【非常に満足】 | 25% | 16.3% (平成21年) | 25.1% (平成24年) | 26.3% (平成25年) |
| 2 観光交流人口の拡大 | (1)延べ宿泊者数 | 1,500万人 | 1,048万人 (平成20年) | 1,153万人 (平成24年) | 1,238万人 (平成25年) |
| | (2)うち東アジア4か国・地域(中、台、韓、香)からの延べ宿泊者数 | 150万人 | 49万人 (平成20年) | 45万人 (平成24年) | 57万人 (平成25年) |
| 3 観光と地域社会の発展 | (1)(経済的効果)観光消費額 | 1兆円 | 5,300億円 (平成20年) | 4,853億円 (平成24年) | 6,667億円 (平成25年) |
| | (2)(社会的効果)観光ボランティアガイド数 | 3,000人 | 2,202人 (平成20年1月) | 2,595人 (平成25年1月) | 2,228人 (平成26年1月) |

1 観光旅行者の満足度

- 愛知県を訪れる観光旅行者の満足度については、県内観光地で実施するアンケート調査（注1）において、「非常に満足」と回答する観光旅行者の割合を 25%とすることを目標としている。
- 平成25年のアンケート調査では、26.3%となり、計画期間中の目標である25%を上回るとともに、調査開始後最高の数値となった。計画当初の平成21年の16.3%からは10.0ポイント、平成24年の25.1%からは1.2ポイント上昇した。
- 同アンケート調査で、「不満に感じた点」としては、「観光資源・施設に魅力がない」が最も多く、不満を感じた点について回答した者の14.0%。次いで、「道路が渋滞している」が10.2%となっている。



<図1 満足度>



<表1 不満に感じた点（上位5項目）>

| 不満に感じた点 | 割合 |
|-------------------------------|-------|
| 観光資源・施設に魅力がない | 14.0% |
| 道路が渋滞している | 10.2% |
| 観光地での駐車場が足りない、未整備 | 10.1% |
| 「食」の面で魅力がない | 8.0% |
| 観光地、交通機関、宿泊・飲食施設等の案内表示がわかりにくい | 7.5% |

- 非常に満足
- 概ね満足
- あまり満足していない
- 不満
- 何とも言いえない
- 無回答

資料) 愛知県「観光地実態調査」(平成25年)

(注1) 県内10箇所(名古屋城、東山動植物園、明治村、木曾三川公園138タワーパーク、中部国際空港見学者、刈谷ハイウェイオアシス、香嵐渓、道の駅どんぐりの里いなぶ、ラグーナ蒲郡、豊川稲荷)において、四半期ごとの休日に、聴き取りによるアンケート調査を実施。

(注2) 「観光旅行者の満足度」の平成22年の数値については、平成22年1月-3月期のデータがないことから、平成22年4月-12月期のデータを使用。

2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数

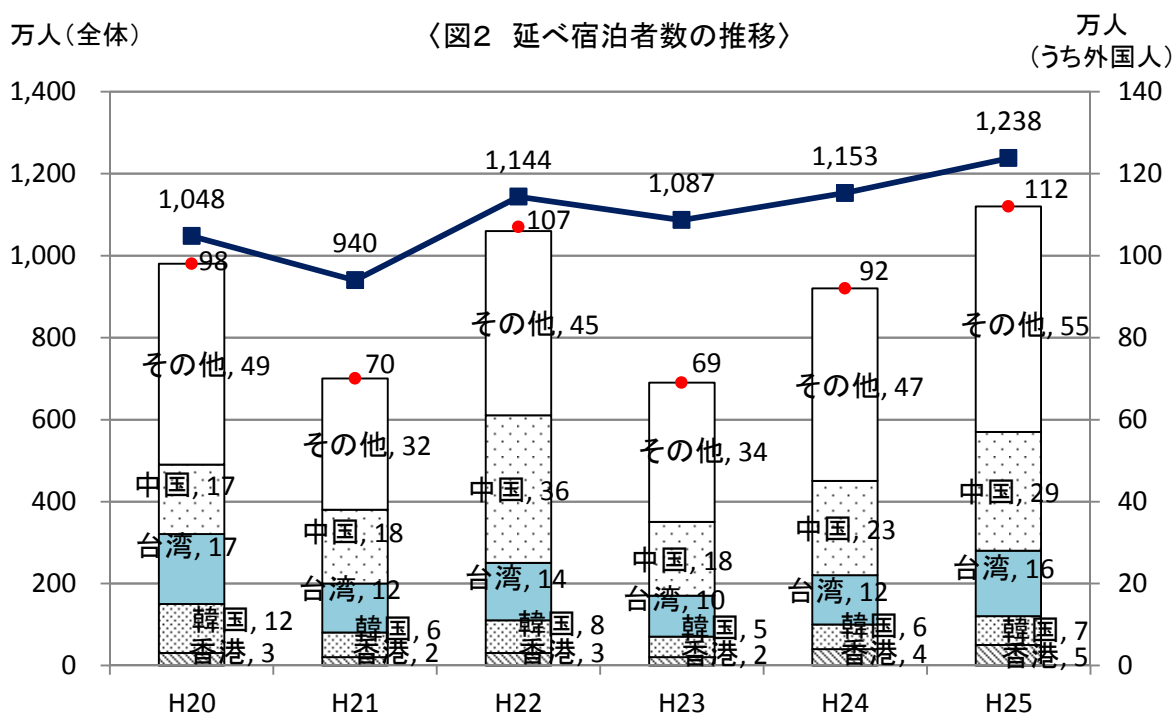
(1) 県内宿泊者数 (注)

- 県内延べ宿泊者数(外国人宿泊者を含む)については、これを 1,500 万人とすることを目標としている。
- 平成 25 年には 1,238 万人となり、平成 20 年の 1,048 万人からは 190 万人増加し、平成 24 年の 1,153 万人からは 85 万人増加したものと推計される。

(2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数 (注)

- 東アジア4か国・地域(中国、台湾、韓国及び香港)からの延べ宿泊者数については、これを 150 万人とすることを目標としている。
- 平成 25 年には 57 万人となり、平成 20 年の 49 万人から 8 万人増加し、平成 24 年の 45 万人からは 12 万人増加したものと推計される。
- このうち、中国からの宿泊者数は、29 万人と最も多く、平成 20 年の 17 万人から 12 万人増加し、平成 24 年の 23 万人からは 6 万人増加している。

| <H20> | (H21) | (H22) | (H23) | (H24) | (H25) | <H27>目標値 |
|----------------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| [県内延べ宿泊者数] | | | | | | |
| 1,048 万人 | 940 万人 | 1,144 万人 | 1,087 万人 | 1,153 万人 | 1,238 万人 | 1,500 万人 |
| [うち東アジア4か国・地域] | | | | | | |
| 49 万人 | 38 万人 | 62 万人 | 35 万人 | 45 万人 | 57 万人 | 150 万人 |



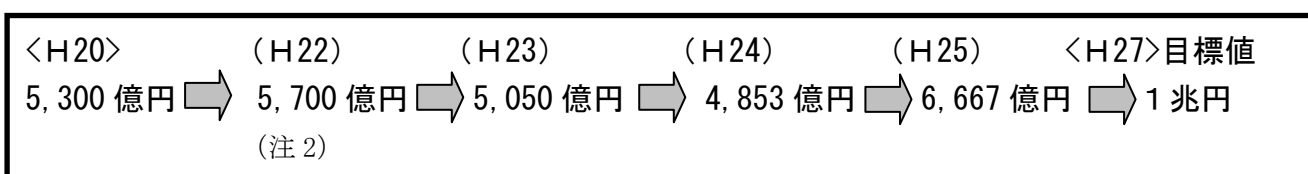
資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

(注) 従業者数10人以上の施設を対象とした、延べ宿泊者数調査の結果を利用している。

3 経済的・社会的効果

(1) 経済的効果（観光消費額）

- 県内観光地で実施するアンケート調査において、県内での観光に係る消費金額(宿泊費、交通費、飲食費、土産物代等)に、県内旅行者の実人数を乗じて算出する観光消費額を1兆円とすることを目標としている。
- 平成25年には6,667億円となり、平成20年の5,300億円からは1,367億円、平成24年度の4,853億円からは1,814億円増加したものと推測される。(注1)
- その内訳としては、県内在住の旅行者が2,977億円、県外在住の旅行者が3,151億円、訪日外国人が538億円となっている。



<表2 県内旅行者の観光消費額（平成25年）>

単位:百万円

| | 宿 泊 | 日 帰 り | 合 計 |
|-------|---------|---------|---------|
| 県内在住者 | 86,145 | 211,542 | 297,687 |
| 県外在住者 | 156,239 | 158,900 | 315,139 |
| 訪日外国人 | 53,825 | - | 53,825 |
| 合 計 | 296,209 | 370,442 | 666,651 |

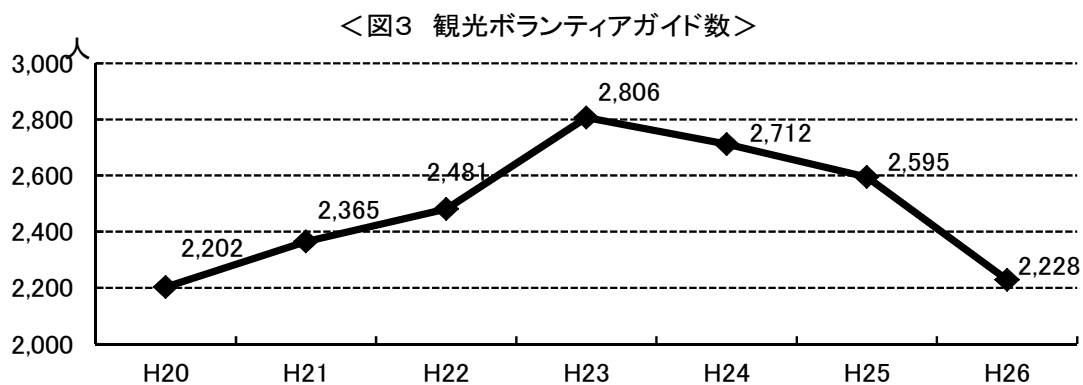
(注1)算出に使用している観光庁提供の宿泊者数データは、平成20年時には、従業員数10人以上の施設を対象としていたが、平成22年4月からは、従業員数10人未満の施設を加え、全宿泊施設を対象としている。

(注2)「観光消費額」の平成22年の数値については、観光庁の全国共通基準による観光入客統計の平成22年1月-3月期のデータがないことなどから、年度のデータを使用。

(2) 社会的効果（観光ボランティアガイド数）

- 観光ボランティアガイド数は、これを 3,000 人とすることを目標としている。
- 平成 26 年 1 月末時点の観光ボランティアガイド数は 2,228 人となり、平成 20 年 1 月末時点の 2,202 人からは 26 人増加したが、平成 25 年 1 月末の 2,595 人からは 367 人減少した。観光ボランティアガイド数は、平成 16 年以降、全国第 1 位となっている。

| | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| <H20> | (H21) | (H22) | (H23) | (H24) | (H25) | (H26) | <H27>目標値 |
| 2,202 人 | 2,365 人 | 2,481 人 | 2,806 人 | 2,712 人 | 2,595 人 | 2,228 人 | 3,000 人 |



資料) 日本観光振興協会資料(各年 1 月末現在)

<表3 都道府県の観光ボランティアガイド数（平成 26 年 1 月末現在）>

| 順位 | 都道府県名 | ガイド数(人) | 組織数 |
|-----|-------|---------|-------|
| 1 | 愛知県 | 2,228 | 59 |
| 2 | 兵庫県 | 1,890 | 71 |
| 3 | 奈良県 | 1,689 | 40 |
| 4 | 北海道 | 1,490 | 55 |
| 5 | 山形県 | 1,398 | 72 |
| 全国計 | | 41,641 | 1,748 |

資料) 日本観光振興協会資料

第2 平成25年度における主要な観光振興施策の実施状況

| 施策 | 内容 | 担当課室 |
|-------------------------|---|-------------------|
| <p>1 観光資源の発掘・商品化の支援</p> | <p>○観光事業者、ボランティア等を対象とする「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、地域資源を活かした旅行商品の開発を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ生:55名 ・観光コースツアー2回(三河湾始め2コース(10月・12月))、企画発表会1回等 <p>○県内各地の観光関係団体等から、地域の特色ある観光資源を活用した、ツアー造成やイベント関連の企画を公募し、その中から特に事業効果の高い企画の商品化等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体:(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、西尾市観光協会、豊橋観光コンベンション協会 <p>○歴史観光のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的価値と魅力を高めるため、名古屋市が行う本丸御殿の復元工事を支援した(経費の一部を助成)。</p> | <p>観光コンベンション課</p> |
| <p>2 プロモーション活動の強化</p> | <p>【武将観光】</p> <p>○戦国武将ゆかりの史跡を巡る「武将のふるさと愛知スタンプラリー」を実施するとともに、B-1グランプリ in 豊川やあいちトリエンナーレ 2013 などの大型イベントと連動したPRイベントの開催や、映画「清須会議」の上映に合わせたシネアドの配信、あいち戦国姫隊をモデルにしたアニメキャラクターの制作・配信を行った。</p> <p>＜スタンプラリー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:9月1日～12月15日 ・参加施設数:70施設(県内外) ・記念品応募者数:2,840名 <p>○「あいち戦国姫隊」を継続し、名古屋城・犬山城・岡崎城での拠点活動、県内外のイベントで、武将観光の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光施設PR(定例公演):138日 ・観光イベント等PR出演:154件 ・各種メディア掲載実績:115件 | <p>観光コンベンション課</p> |

| 施 策 | 内 容 | 担当課室 |
|-----|--|------------|
| | <p>○各地域で開催される武将関連イベントとの協力や、各地域の武将関連資源の掘り起こしを図るため、「武将観光推進会議」を開催し、関係者の情報交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:(第1回)7月4日・(第2回)3月18日 ・参加者:(第1回)30市町村、47名 (第2回)25市町村、41名 <p>【産業観光】</p> <p>○県及び(一社)愛知県観光協会のホームページ「あいちの産業観光」において、産業観光施設やモデルコースを紹介した。</p> <p>○本県、岐阜及び三重の3県が連携し、「産業観光スタンプラリー」を実施し、産業観光施設への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間:7月20日～9月30日 ・参加施設数:205施設(うち愛知県は81施設) ・総入場者数:21,924名 <p>【街道観光】</p> <p>○東海道沿線の6市(名古屋、豊明、知立、岡崎、豊川及び豊橋)との連携の下、旧東海道の観光資源を活用した町歩きキャンペーン、「東海道キャンペーン in あいち『トコトコ東海道』」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間:9月～12月 ・参加者数:延べ4,738名 <p>【都市観光】</p> <p>○県及び(一社)愛知県観光協会のホームページにおいて、「愛知グルメ図鑑」を掲載し、「なごやめし」や郷土食等のグルメ情報を発信し、本県の食をPRした。</p> <p>○11月9日・10日に開催された「B-1グランプリ in 豊川」の機会を活用し、県内各地のご当地グルメと見どころを紹介するステージイベントと、県産品の展示・販売を行う「魅力発信!あいちフェア」を開催した。また、愛知のご当地グルメと観光資源を紹介するリーフレットを作成、配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット作成部数:10,000部 | 観光コンベンション課 |

| 施策 | 内容 | 担当課室 |
|----|--|-------------------|
| | <p>【知多半島観光圏】</p> <p>○観光圏整備法に基づき国の認定を受けた「知多半島観光圏協議会」の取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外から観光客を知多半島観光圏に誘致するため、セントレア(中部国際空港)での「知多半島観光物産展」の開催を支援した。 <p>【情報発信】</p> <p>○(一社)愛知県観光協会のホームページや発刊誌において、祭りなど、四季折々のイベントを紹介し、本県の多彩なイベントをPRした。</p> <p>○市町村等が行う観光展・イベントの開催、情報発信等に対して必要な経費の一部を助成し、県内観光地の魅力の発信を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数：9団体 10件(観光展4件、イベント6件) <p>○首都圏、関西圏において、名古屋市との連携の下、知事及び名古屋市長によるトッププロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：(首都圏)旅行社・マスコミ42名、県内旅行関係者74名 計116名 (関西圏)旅行社・マスコミ31名、県内旅行関係者59名 計90名 <p>○首都圏において、本県の「観光のみどころ」と「食」を情報発信するため、観光物産展(開催日：10月18日・19日)を開催した。また、酒蔵や味噌の醸造元など、本県内における食に関連した体験スポットを紹介する冊子を作成し、当日配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場：二子玉川ライズ ・販売品目：93事業者から196品目 ・冊子の配布部数：1,000部 <p>○多くの観客が集まる世界コスプレサミットの機会を活用し、コスプレイヤーが関心を持ちそうな県内の観光資源をPRするためのブースを設置するとともに、世界コスプレサミットを盛り上げるステージイベントを実施した。また、コスプレイヤーを対象にしたツアー造成を旅行会社に働きかけた。</p> | <p>観光コンベンション課</p> |

| 施策 | 内容 | 担当課室 |
|---------------|---|------------|
| | <p>【アジアからの誘客の推進】</p> <p>○韓国(釜山市)において、トッププロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表敬(釜山広域市長、釜山商工会議所、韓国観光公社) ・現地旅行会社への訪問セールス、 ・現地旅行会社と県内の観光事業者との商談会(35社)、交流会の開催 <p>○香港及び中国深圳市において、プロモーション活動を実施したほか、香港の旅行会社・メディアの招請事業及び旅行商品の広告支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスコール: 香港 5社、深圳市 2社 ・旅行会社等の招請: 香港 2社 ・広告支援: 1社 | 観光コンベンション課 |
| 3 観光客の受入体制の充実 | <p>○「おもてなし愛知県民会議」を開催し、県全体で、おもてなしの気運の醸成を図った。</p> <p>(開催日:12月24日、参加団体数:行政、観光関係団体、観光事業者、商工団体、地域住民団体 68団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観光バリアフリー情報」をテーマにワーキンググループを開催し、バリアフリーや多言語案内表示の充実など、旅行者の利便性の向上に向けた情報交換を実施した。 <p>○観光ボランティアガイドを対象とする「産業観光あないびと育成研修」を実施し、地域における産業観光の受入体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催回数: 2回 ・参加者数: 延べ 71名 <p>○(一社)愛知県観光協会内に設置した「訪日教育旅行推進センター」が県内学校と調整を行い、海外から修学旅行者の受入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国を始めとする 4か国・18校 397名 <p>○市町村が行う観光案内板、トイレ等の施設整備に対し、必要な経費の一部を助成し、県内観光地の利便性、快適性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数: 8市町村 8施設 | 観光コンベンション課 |

| 施策 | 内容 | 担当課室 |
|--------------------------|---|-------------------|
| <p>4 広域観光の推進のための連携強化</p> | <p>○「中部広域観光推進協議会」(愛知、岐阜、三重、静岡、富山、石川、福井、長野及び滋賀の9県、名古屋、静岡及び浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成)において、国内及び海外での観光プロモーション活動を実施した。</p> <p><国内プロモーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京での観光展「旅フェア2013」への出展 ・東京・大阪での「観光フォーラム」の開催(参加者数:東京198名、大阪206名) <p><海外プロモーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国: ・北京市、上海市において、政府関係機関、旅行社、航空会社等への訪問、観光説明会、商談会の開催(商談会参加現地旅行社等:北京市67名、上海市68名) ・中部への教育旅行商品の造成を図るため、北京市、上海市の教育旅行関係者等の招請(2コース8名) ・韓国: 中部への旅行商品の造成を図るため、ソウル市、釜山市の旅行社、メディア等の招請(4コース23名) ・台湾: ・台北国際旅行博(ITF2013)への出展、観光庁主催の商談会への参加、政府関係機関、旅行社、航空会社等への訪問(商談会参加現地旅行社等:214名) ・中華圏から中部へ観光客誘致を目的とした「昇龍道プロジェクト」の一環として、台北市において、政府関係機関、旅行社等への訪問、観光セミナー、商談会の開催(商談会参加現地旅行社等:147名) ・台北市において、「日本観光・物産博2013」へ出展 ・インドネシア・マレーシア: <ul style="list-style-type: none"> ・「昇龍道」の旅行商品の造成を図るため、ジャカルタ市、クアラルンプール市の旅行会社を訪問。インドネシアの旅行会社等を招請(計6名) <p>○「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」(愛知、静岡、岐阜及び三重の4県、名古屋、静岡及び浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成)において、海外での観光プロモーション及び招請事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ: バンコクにおいて、旅行会社セールスコール、観光説明会、商談会の開催。インセンティブツアーをテーマに招請(2コース、旅行社10名、メディア2名)、現地旅行社への広告支援(1社) | <p>観光コンベンション課</p> |

| 施策 | 内容 | 担当課室 |
|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・台湾：徳川家康没後400年(平成27年)に向けて、家康公縁の地への旅をテーマに招請(2コース、旅行社5社、メディア4社) ・シンガポール:「日本の食とレンタカーツアー」をテーマに、メディア招請(1名)、現地旅行雑誌への記事掲載、現地旅行会社への広告支援、シンガポール旅行博への出展 <p>○「鳥羽伊良湖航路活性化協議会」(田原市及び鳥羽市が中心となり設立)に参画し、旅行商品の企画造成を中心として、航路の利用促進に取り組んだ。</p> | 交通対策課 |
| <p>5 MICE (イベント、コンベンション等) (※)の戦略的な誘致</p> <p>※「MICE」とは、企業などが行う会議(Meeting)、企業が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の総称</p> | <p>○MICE誘致推進のため、観光庁による「MICEマーケティング戦略高度化事業」に名古屋市とともに参加し、海外のMICE専門アドバイザーによるコンサルティングを受けたほか、関連事業者等を対象としたセミナー等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加者:93名 <p>○B-1グランプリ in 豊川の開催に当たり、実行委員会に参画し、負担金を交付したほか、積極的なプロモーション活動を実施し、開催を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-1グランプリ in 豊川 開催日:11月9日・10日 出展者数:64団体 来場者数:58万1千人 <p>○「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」(平成26年)の成功に向け、会議支援の準備、ESDの普及啓発・取組促進を行った。</p> <p>○3年に1度の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」を開催した。</p> <p>開催期間:8月10日～10月27日 来場者数:62万6千人</p> <p>○2005年日本国際博覧会(愛・地球博)10周年となる平成27年度に開催する「全国都市緑化フェア」の開催準備として、実施計画を作成した。</p> <p>○「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」の開催に向け、広報ツールを制作し、PR活動を通じて大会の認知度向上を図った。</p> | <p>観光コンベンション課</p> <p>ESD会議支援室</p> <p>国際芸術祭推進室</p> <p>全国都市緑化フェア推進室</p> <p>技能五輪・アビリンピック推進室</p> |

第3 平成26年度の主要な観光振興施策

1 観光資源の発掘・商品化の支援

○地域提案公募による観光の振興

地域の観光関係団体等から、環境観光、グリーンツーリズム、ベイツーリズムなど、地域資源を活用したツアー造成やイベント開催の企画を公募し、その中から、特に事業効果の高いものについて、商品化等を支援する。

○着地型旅行商品の開発の促進

「あいち観光まちづくりゼミ」において、ゼミ生が企画した観光コースについて、一般客を対象としたツアーを実施し、その意見を踏まえ、さらに魅力のある観光コースの商品化を促進する。

2 プロモーション活動の強化

○トッププロモーションの実施

名古屋市と連携し、首都圏において、知事及び名古屋市長による観光トッププロモーションイベントを開催し、大きな観光需要が見込まれる地域からの観光客の拡大を図る。

○観光キャンペーンの展開

官民一体となったPRイベントの開催や旅行会社に対するPR活動などの観光キャンペーンを展開し、内外からの観光客の拡大を図る。

○武将観光の推進

「あいち戦国姫隊」を活用したプロモーション活動を継続して実施するほか、県内各地の「武将や甲冑をテーマに活動する団体」が集まる武将観光イベント「あいち合戦ワールド2014 in 大高緑地」を開催し、本県の武将観光を全国に情報発信する。

○なごやめしブランドの推進

なごやめしブランドを推進し、戦略的にPRしていくための手法等について意見を得ることを目的に、愛知県と名古屋市が共同で、有識者等による懇談会を立ち上げる。懇談会での意見を踏まえ、各種PR事業を名古屋市と共同で行う。

○観光と食の魅力の発信

ウェブ上に観光と食の魅力を発信するアンテナショップを開設するとともに、SNSも同時に活用し、本県で行われる週末のイベントや観光地、新商品等の情報を発信する。

○ アジアからの誘客の推進

東南アジア地域の中でも特に観光客の増加が著しいタイをターゲットにして、更なる観光客の増加を図るため、バンコク市に知事が渡航し、政府関係機関、大手旅行社等への訪問、商談会などのプロモーション活動を実施する。

また、台湾からの観光客を本県に誘客するため、訪日旅行取扱旅行社を招請し、本県の観光施設等の視察を行い、本県を含んだ商品造成を働きかける。

3 観光客の受入体制の充実

○「おもてなし愛知県民会議」の活動の推進

県全体でおもてなしの機運を醸成するため、おもてなし宣言の公募、ポスター、ステッカー等による啓発を行うとともに、バリアフリーの充実や案内表示の多言語化、銀聯カードの普及など、内外からの観光客の利便性向上を図る。

4 広域観光の推進のための連携強化

○他県等との連携による観光プロモーション活動等の実施

「中部広域観光推進協議会」や「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」の活動を通じ、内外の観光展への出展、周遊コースの造成支援、現地旅行会社の招聘、セミナーの開催等により、観光客の拡大を図る。

○中華圏等を対象とするプロモーション活動の実施

「昇龍道プロジェクト推進協議会」が実施する中華圏等を対象にした観光プロモーション事業に参加し、当地の知名度アップ及び当該地域からの観光客の拡大を図る。

5 MICE（イベント、コンベンション等）の戦略的な誘致・支援

○MICE誘致の推進

国の実施する「MICEマーケティング戦略高度化事業」に名古屋市とともに参加し、MICE開催地としての国際競争力の強化や魅力の向上、受入環境・体制の強化を図るとともに、当地域内のMICE関連事業者を集めた懇談会等を開催し、地域内の連携を強化する。

○大型イベントの開催準備・支援

「ゆるキャラ@グランプリ2014in あいちセントレア」や「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の開催を支援するとともに、「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」を開催するほか、2015年開催予定の「全国都市緑化フェア」、2016年開催予定の「あいちトリエンナーレ2016」の開催準備に取り組む。

(参考) 愛知県観光振興基本計画推進委員会

「愛知県観光振興基本計画」の議会への報告及び公表に当たり、下表の委員で構成する「愛知県観光振興基本計画推進委員会」を開催し、基本計画に基づく施策の実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 所属・職名 |
|-------------|---------------------------------|
| 楠 伸子 | 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 専務理事 |
| 鈴木 誠二 | 名古屋市市民経済局文化観光部長 |
| 西村 哲治 | 公益社団法人日本観光振興協会中部支部事務局長 |
| (委員長) 森川 敏育 | 桜花学園大学観光総合研究所所長 |
| 山内 均 | 一般社団法人愛知県観光協会専務理事 |
| 山本 勝子 | 日本福祉大学知多半島総合研究所副所長 |

平成26年度版愛知の観光振興施策の実施状況

(平成25年度年次報告書)

平成26年10月発行

愛知県産業労働部観光コンベンション課

〒460-8501名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6353(ダイヤルイン)

ホームページ:<http://www.pref.aichi.jp/kanko/>